

湿潤化ケレンによる素地調整手順

工程		材料	塗付量 (kg/m ² /回)	塗回数	塗付工具
1	養生	●ケレン作業対象以外の箇所やその周辺で飛散や接触する可能性のある範囲を、使い捨て養生シートなどで養生してください。			
2	水性湿潤化剤塗付	モイストップK	0.15～0.25 (2種ケレン) 0.1～0.2 (3種ケレン)	1～3	ウールローラー中毛～中長毛刷毛
3	ケレン	●指定されたケレン種別（1種、2種または3種）に応じてケレン作業を行ってください。 ●モイストップK塗付による塗膜粉じん飛散防止効果が低下した場合は、モイストップKを再度塗付し、ケレン作業を行ってください。			
4	除去・清掃	●ケレン作業後、素地に残ったモイストップKと素地に飛散した付着物を、直ちにウエスなどで完全に拭き取り、除去・清掃してください。（最後にウエスなどで水拭きを行うとより効果的に除去できます。） ●除去・清掃に使用したウエス類や、ケレン作業による周囲への飛散物は、使い捨て養生シートとともに廃棄してください。			

湿潤化ケレン作業における注意事項

- 悪天候時には施工しないでください。
- 安全なケレン作業のため、1 m²以上の作業スペースを確保してください。
- モイストップKを塗付した面でのケレン作業は滑りやすいため、特に電動工具を使用する場合は注意してください。
- ケレン作業後、素地に残ったモイストップKは**完全に拭き取ってください**。モイストップKが残存したまま塗装を行うと、**塗料の付着不良や防錆性不良の原因**となります。
- ケレン作業により飛散する湿潤塗膜片が、身体に直接付着したり、吸引することのないように十分注意してください。
 - ①作業者は、皮膚防護用のフード付きツナギ服およびシューズカバーを着用してください。
 - ②作業者は、防塵マスク、保護めがね、保護手袋、ヘルメット等を必ず着用してください。
- 除去・清掃時の拭き取りに使用したウエス類、ケレン作業により周囲に飛散したり工具に付着した湿潤塗膜片、および、これらが付着した防護着衣等や養生シート類は、収集保管し、**産業廃棄物として各自治体の処分方法に準じて処理**してください。
- 塗付工具に有害成分を含む塗膜片が付着している場合は、塗付工具を水洗浄せずに、上記と同様に処理してください。

取扱い上の注意事項

- 取扱い中は、皮膚に触れないようにし、必ず下記の保護具を着用してください。（防塵マスク・保護めがね・長袖の作業衣・保護手袋・ヘルメット）
- 容器から取り出す時に、こぼれないようにしてください。もしこぼれた場合には、布やウエスで拭き取るか、砂などを散布したのち処理してください。
- 皮膚に付着した場合には、直ちに多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、医師の診断を受けてください。
- 蒸気・臭いなどを吸い込んで気分が悪くなった時には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診断を受けてください。
- 目に入った場合には、直ちに多量の流水で洗い、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合には、直ちに医師の診断を受けてください。
- 取扱い後は、手洗い・うがい・鼻孔洗浄を十分に行ってください。
- 容器は密栓し、40℃以下で子供の手の届かない一定の場所を定めて保管してください。特に下記の場所の保管は避けてください。（雨水や直射日光の当たる場所・高温多湿の場所・潮風の当たる場所・凍結の恐れのある場所など）
- 捨てる時には、産業廃棄物として処分してください。
- 製品の容器には、取扱い上の注意事項などを記載していますので、必ずお読み頂き、正しく安全にご使用ください。
- 製品の詳細な内容が必要な時には、安全データシート（SDS）をご参照ください。

荷姿

- モイストップK 外観：半透明乳白液 容量：15kg／缶



営業本部 〒510-0101 三重県四日市市楠町小倉1058-4 ☎059-397-6111 FAX 059-397-6188

札幌支店	〒061-3243	北海道石狩市新港東2-17-1	☎0133-60-6311	FAX 0133-62-4313	取扱店
東京支店	〒132-0025	東京都江戸川区松江4-25-13	☎03-5661-2211	FAX 03-5661-2020	
名古屋支店	〒453-0837	愛知県名古屋市中村区二瀬町110-1	☎052-411-1255	FAX 052-412-7337	
大阪支店	〒575-0055	大阪府四條畷市西中野2-8-7	☎072-862-1601	FAX 072-862-1561	
四国支店	〒763-0083	香川県丸亀市土器町北1-36	☎0877-24-4621	FAX 0877-24-4624	
広島支店	〒733-0833	広島県広島市西区商工センター4-6-1	☎082-277-1116	FAX 082-277-6217	
九州支店	〒811-2315	福岡県糟屋郡粕屋町甲仲原4-2-28	☎092-938-0071	FAX 092-938-0075	



URL <http://www.suzukafine.co.jp/>

●このカタログに記載の商品の内容は、改良などのため予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。

23/05

NETIS 国土交通省 新技術情報提供システム
＜登録番号＞ KT-160144-VE
活用促進技術
新技術活用評価会議（中国地方整備局）

カタログ
No.999-1

特許第6462739号

VE登録! 活用効果評価済み

ケレン塗膜粉じん飛散防止液

モイストップK



モイストップKは、動力工具ケレンで発生する粉じんを80%低減します。



塗替塗装の素地調整時に発生する塗膜粉じんを大幅に低減！

橋梁等の鋼構造物の塗替塗装における素地調整（ケレン）で、モイストップKを塗付して既存塗膜を湿潤化することにより、有害成分を含有する粉じん状の微細塗膜片の飛散を抑制します。このため、作業員が吸引したり接触するリスクや、これらの飛散物が周辺に拡散することで環境を汚染するリスクを低減することができます。同時に、引火性や危険有害性を有する剥離剤や洗浄用シンナーを使用しないことで、安全なケレン作業環境を提供します。

用途

鋼構造物や建築物の2種および3種ケレン作業時の湿潤化^{※1}による粉じん状塗膜片の飛散低減

注1) 厚生労働省は、2014年5月30日付で関係各所に対して「鉛等有害物を含有する塗料の剥離やかき落とし作業における労働者の健康障害防止について」という文書を通達している。本通達では、隔離区域等内作業場での鉛等有害物を含有する塗料の剥離作業は、塗膜粉じんの飛散を抑制するため、必ず湿潤化して行うこと、または、これと同等程度の粉じん濃度まで低減させる方策を講じることを指導している。

特長

1 ケレン塗膜粉じんの飛散抑制

塗付することで湿式によるケレン作業が実施でき、塗膜粉じんが浮遊せずに落下しやすくなるため、塗膜粉じんの飛散を効率よく抑制することができます。

2 素地調整時間の短縮

塗付後すぐにケレン作業を実施でき、塗膜剥離剤のような待ち時間が不要であるため、作業効率が大幅にアップします。

3 湿潤効果持続性

天井面や垂直面に簡単に塗付できてタれることもなく、長時間に渡り湿潤状態を保ちます。
※湿潤効果の持続時間：約8時間（23℃）

4 残剤除去性

乾燥が遅く、水溶性であるため、ケレン作業後に拭き取ることで残剤を簡単に除去することができます。

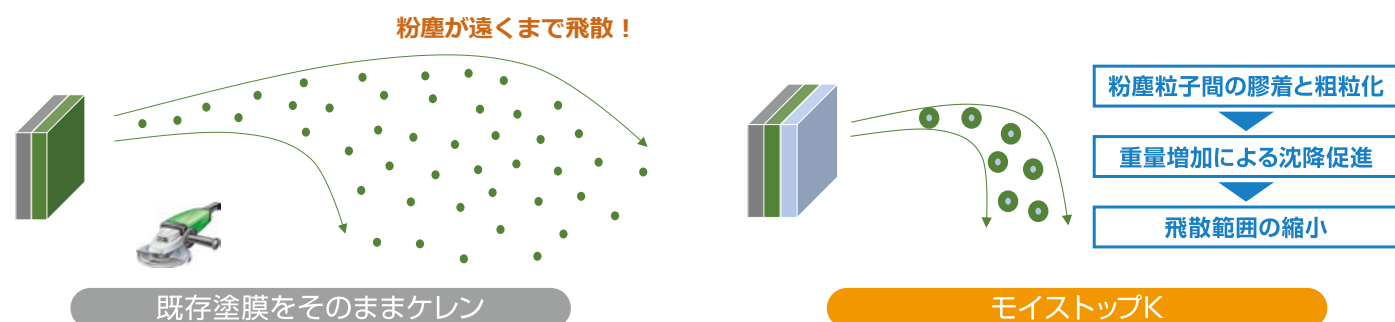
5 飛散物の回収性

ケレン作業により使い捨て養生シート等に付着した飛散物は、時間の経過とともに被膜化が進行するため、粉じんとして浮遊せずに回収が容易です。

6 安全性

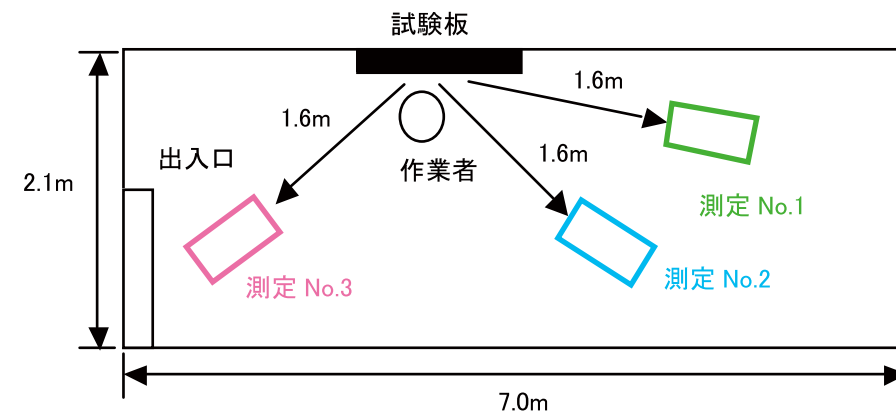
水系タイプであるため、引火性がなく安全で、臭気の問題もなく、作業員に対する危険有害性が低いです。

塗膜粉塵の飛散浮遊を抑制するしくみ

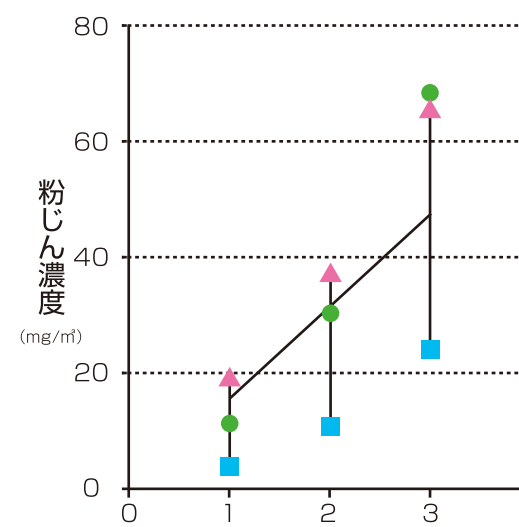


動力工具ケレンにおける塗膜粉じん濃度測定

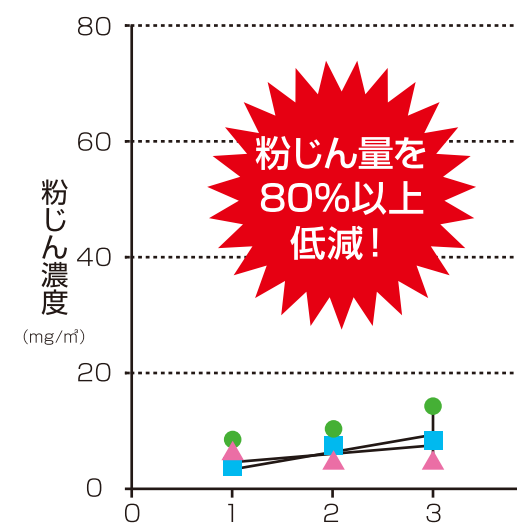
（株）山梨県環境科学検査センターにて測定



ケレン試験場の見取り図



モイストップKなし



粉じん量を
80%以上
低減！

モイストップKあり

※測定時間…1：ケレン開始直後から30秒間、2：開始1分後から30秒間、3：開始2分後から30秒間

※光散乱デジタル粉じん計で測定した粉じん相対濃度（CPM）から質量濃度換算係数（K値、粉じん濃度＝K値×CPM）を算出し、粉じん濃度（mg/m³）に換算

品質規格

工 程	評 価	規 格
容器の中での状態	適合	鋼道路橋防食便覧付Ⅱ-3に準じる。 かき混ぜたとき、中身全体が容易に一樣になる。
塗付量	適合	垂直面に本剤を200g/m²塗付し、流れ落ちることがない。
乾燥時のフラッシュさびの発生	適合	試験方法はJIS K 5674 7.8に準じる。 本剤を10g/m²塗付したのち、標準状態で4時間放置し、目視により観察した結果、フラッシュさびがない。
塗替塗膜の付着性 ^{※2}	適合	鋼道路橋防食便覧付Ⅱ-3に準じる。 クロスカット法(2mm間隔)により付着試験を実施した結果、分類Ⅰ又は分類Ⅱ
塗替塗膜の耐水試験後の付着性 ^{※2}	適合	鋼道路橋防食便覧付Ⅱ-3に準じる。 168時間水に浸漬したのち取り出し、標準状態で24時間置いてからクロスカット法(2mm間隔)により付着試験を実施した結果、分類Ⅰ又は分類Ⅱ。
塗替塗膜のサイクル腐食性 ^{※2}	適合	鋼道路橋防食便覧付Ⅱ-3に準じる。 サイクル腐食性試験による120サイクルの試験で、塗膜にさび、膨れ、割れ及びはがれを認めない。

注2) 下塗：弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料 中塗：弱溶剤形ふっ素樹脂塗料中塗 上塗：弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗